

令和4年9月1日  
四国電力送配電株式会社

## 「フレイル対策コンソーシアム」への入会について ～産官学との連携強化により、高齢化社会の課題解決に努める～

当社は、社会課題として注目されているフレイル<sup>\*</sup>の予防・改善モデルの構築に向け、産官学による連携拡充を目指す共同事業体「フレイル対策コンソーシアム」に入会いたしましたので、お知らせいたします。

※健康な状態と要介護状態の中間に位置し、身体機能や認知機能の低下がみられる状態のこと。

「フレイル対策コンソーシアム」は、電力をはじめとする多様なデータを活用した持続可能なフレイル予防・改善のモデルを社会実装していくことを目的に、2021年7月に中部電力株式会社（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：林 欣吾）と株式会社 JDSC（本社：東京都文京区、代表取締役：加藤 エルテス 聡志）が発起人となって設立されました。現在、コンソーシアムのパートナー企業が中心となり、ライフラインデータ（電力データ等）を用いたフレイルの早期発見・早期予防に向けた実証などを行っています。

当社は、高齢化や人口減少などの四国地域の課題解決に向け、「フレイル対策コンソーシアム」への参画を通じて、会員である産官学との連携を強化するとともに、当社が保有する知見や電力スマートメーターなどの送配電ネットワークを活用したDX推進に取り組んでまいります。

### <コンソーシアムの概要>

名 称：フレイル対策コンソーシアム (<https://frailty-prevention.org/>)

設 立：2021年7月

活動内容：会員同士で情報発信や知見の拡充を行い「フレイル検知の認知向上」、「社会実装のための施策企画」に向けて連携し、「フレイルの予防・改善」に繋がるアプローチを行う。

事 務 局：合同会社ネコリコ、株式会社 JDSC

会 員：中部電力株式会社、東京大学高齢社会総合研究機構、三重県等、13者



以 上